



## 今年の漢字と来年の漢字

年末恒例、清水寺で揮毫される今年の漢字は『戦』でした。皆さんはこの漢字をみて、何を思い浮かべましたか？私は、「戦争」という言葉が真っ先に浮かびました。ロシアがウクライナに攻め込んだこと、そしてそれが今も続いていること。まさに今、この世界の中で戦争が起こっている事自体が日本にいると信じられない気持ちです。でも、ニュースでは爆撃によるがれきの山が映し出され、恐ろしい思いをしている人がたくさんいることに心を痛めずにはられません。

ただ、選ばれた理由には戦争だけでなく、冬季オリンピックやサッカーワールドカップの「熱戦」の事も上げられていました。「戦」は生命を脅かす戦いだけでなく、ルールにのっとって正々堂々と「戦う」時にも使われます。また、相手は他人だけとは限りません。「自分自身と戦う」こともあります。そういう意味では、ネガティブな面だけでなくいろんな意味を持つ漢字だなと感じました。

昨年も書きましたが、私たちが住んでいる和歌山県にある世界遺産、熊野本宮大社では、宮司さんが年末に来年への願いを込めた一文字「来年の漢字」を揮毫されます。令和5年の漢字は『力』です。宮司さんは「日本に閉塞感や新型コロナが立ちあがる一方で、サッカーワールドカップでは、日本代表が強豪のドイツやスペインを破るなど、個々の力やチームの力が私たちにも生きる力をもたらした。」とおっしゃっており、その姿を見て様々な困難を力を合わせて乗り越えるとの思いを込めて『力』という文字に決めたそうです。一人の力でできること、みんなで力を合わせるからできること。様々な「力」があると思います。力の使いどころを考え、正しい力、正義の力を発揮できるような人になってほしいと願っています

年が改まるお正月の朝は、いつもと同じ朝だけど、なんとなく新たな気分になる気がします。新年に向けて、あなたの来年の一文字はなんですか。

《あなたの来年の一文字は何ですか》

### 《保護者の皆様へ》

〔保護者アンケートにご協力をお願いいたします〕

令和4年度も3/4が過ぎました。いつも学校運営に多大なご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。コロナ禍がいまだに収束せず、思い通りに行かないもどかしさが続いています。少しずついろいろなことができるようになってきました。今後も、「子ども達のために何が大切か」ということを一番に考えながら、今できる最大限のことをしていきたいと考えています。今後とも、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

良いお年をお迎えください。

